


クラス	C108	担当教員	やまがみ としひこ 山 上 俊 彦
	テーマ	人口減少・高齢化と社会保障制度について考える	
	著書・論文 研究課題等	著書・論文： 「サーチ理論による雇用調整助成金の評価」日本福祉大学経済論集 2017 年 「サーチ理論と雇用保護立法(その1)(その2)」日本福祉大学経済論集 2016 年 「サーチ理論と賃金構造(その1)(その2)」日本福祉大学経済論集 2014 年 「サーチ理論と賃金格差」日本福祉大学経済論集 2012 年 「サーチ理論と均衡失業」日本福祉大学経済論集 2011 年 研究課題：労働市場における制度・慣習の経済分析 人口問題の経済分析（経済が人口に与える影響・人口が経済に与える影響）	

ゼミナール概要

キーワード：人口減少、高齢化、日本経済、社会保障、若年雇用

目的、内容、方法等：
 日本の出生率（年間に生まれる子供数）は、1970 年頃から低下し続けている。その一方では医学の発達等により平均寿命が伸びている。そのため、日本は例のない速度で高齢化が進み、高齢社会を迎えることとなった。さらに、2005 年頃からは、遂に人口減少が始まった。
 社会保障制度は、高齢者の増加と制度を支える若年層の減少により、制度を維持できない恐れが現実のものとなりつつある。現在の若者が高齢者となったときに、満足な年金や医療・介護サービスを受給できるのか不安視されている。
 巨額の財政赤字は今後の大幅な消費税率の引き上げにつながる。人口減少は経済の停滞、株価や地価の下落を招くとされており、経済の先行きは明るいとは言えない。
 しかし、本来、日本の潜在能力は高く、その能力を活用すれば明るい未来が描けるはずである。特に若年層の雇用改善は経済成長につながるはずである。人口減少と高齢化は、今後の日本経済や社会保障制度にどのような影響を与えるのかを理論と実証の両面から考えてみたい。そして日本の社会保障制度を含めた政策、税制等はどうかあるべきかを踏まえて将来の日本の姿を描いてみたい。

授業計画（スケジュール）：
 日本経済を考える上での基礎知識を身に付けられるようにする。
 経済分析においても必要な資料収集、統計処理等の基礎知識を身につけられるようにする。
 仲間と協力しつつ自ら考えて解決策を提示するとともに、ゼミ発表や卒業研究の作成ができるようにする。
 大学生として必要な教養、PC 操作能力を身に付けられるようにする。
 これら成果が就職につながるようにする。
 2 年：日本経済や社会保障制度を考えるに当たって必要な経済や社会の基礎を勉強する。
 3 年：具体的なテーマを設定して、共同で資料を準備し、議論し、とりまとめてゼミ発表会で発表する。
 4 年：卒業研究の作成と就職活動の成功

テキストと参考書：
 加藤久和(2016)『8000 万人社会の衝撃 地方消滅から日本消滅へ』（祥伝社）
 吉川洋(2016)『人口と日本経済 - 長寿、イノベーション、経済成長』（中央公論新社）
 鈴木亘(2011)『財政危機と社会保障』（講談社）
 鈴木亘(2014)『社会保障亡国論』（講談社）

使用テキスト	担当教員からのメッセージ
--------	--------------

<p>概要に示した書籍から相談して決定します。</p>	<p>時間を集中的に活用できるのは学生時代のみですから、勉学、サークル活動と時間を有効に使って欲しいと思います。 読書をする習慣を身に付けて下さい。専門書のみでなく、教養書も優れた書籍があります。また、毎日の新聞の政治、経済欄に重要です。これは就職のみならずその後にも役立ちます。また、学物等に積極的に参加して下さい。それが就職で良い仕事に就ける一番の近道です。</p>
-----------------------------	--